

## 早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	( おがさわらとうこ )
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	学士課程 4年
発表年月 または事業開催年月	2023年 7月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	こども環境学会 2023 大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	小笠原瞳子 佐藤将之 堀越まい
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	しいのみハウスの現状と多世代交流の場としての可能性の検討
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>保育園に併設され、子どもの居場所事業を核としながら多世代の地域の居場所となる見込みのある地域交流スペース「しいのみハウス」の現状を調査し、場の開かれ方や人々の活動の様子を明らかにすることを目的に調査研究を進め、発表を行なった。</p> <p>研究内容としては、インタビュー調査、プロット調査などを行いその結果、場の使いこなしの視点から、1)スペースの棲み分け 2) テーブルの使いこなし 3)多世代交流の幅の3つの検討事項が見受けられた。</p> <p>今後、直接的な多世代交流の居場所として運営していくために、小学生の参画を前提とした現在駄菓子屋のオープンや部活動などが進んでおり、発展が期待される。今後も調査を続けたい。</p> <p>また、学会の成果として、各大学の教授など学会の参加者との質疑や、シンポジウム参加を通し、今後の研究へ向けた新たな知見を得ることができた。</p>	

※無断転載禁止